

1 平成22年愛知県鉱工業指数の概況

<生産指数>

生産指数は 91.6 で、前年比 23.6% 上昇でした。

業種別でみると、上昇したのは輸送機械工業(97.9)が前年比 28.6% 上昇、一般機械工業(70.0)が同 37.0% 上昇、鉄鋼業(91.0)が同 32.3% 上昇等 17 業種でした。一方、低下したのは食料品工業(91.5)が前年比 1.2% 低下等 5 業種でした。

<生産者出荷指数>

生産者出荷指数は 90.8 で、前年比 22.5% 上昇でした。

業種別でみると、上昇したのは輸送機械工業(96.8)が前年比 26.5% 上昇、一般機械工業(69.8)が同 34.0% 上昇、鉄鋼業(89.2)が同 34.1% 上昇等 18 業種で上昇しました。一方、低下したのは食料品工業(86.9)が前年比 2.8% 低下等 4 業種でした。

図1 愛知県鉱工業指数の推移

図1-1 年別 原指数

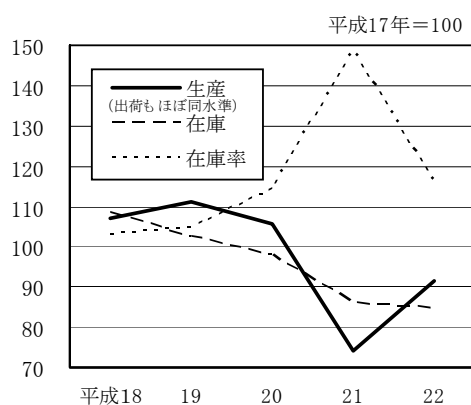
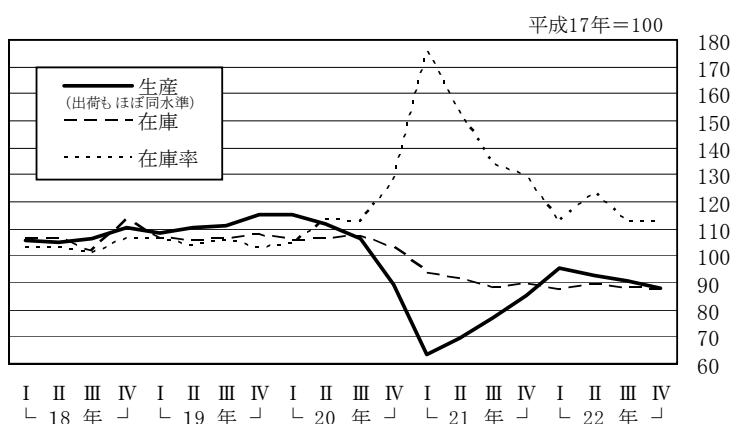


図1-2 四半期別 季節調整済指数



<生産者在庫指数>

生産者製品在庫指数は84.8で、前年比1.3%低下でした。

業種別でみると、低下したのはプラスチック製品工業(95.5)が前年比12.5%低下、繊維工業(51.6)が同22.9%低下、金属製品工業(62.4)が同12.2%低下等16業種でした。一方、上昇したのは鉄鋼業(104.0)が前年比12.9%上昇、情報通信機械工業(62.5)が同35.9%上昇、食料品工業(70.0)が同1.0%上昇等5業種でした。

<生産者在庫率指数>

生産者製品在庫率指数は115.6で、前年比22.3%低下でした。

業種別でみると、低下したのは一般機械工業(145.5)が前年比41.2%低下、鉄鋼業(110.3)が同29.2%低下、輸送機械工業(94.9)が同19.3%低下等18業種でした。一方、上昇したのは情報通信機械工業(179.2)が前年比31.0%上昇、食料品工業(113.1)が同4.8%上昇等3業種でした。

表1 愛知県鉱工業指数 年・期別指数の推移

平成17年=100

年・期 項目	平成21年	平成22年	平成21年				平成22年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
生産指数	74.1	91.6	63.2	69.6	77.3	85.5	95.4	93.0	90.7	87.9
前年比・前期比	△29.9	23.6	△29.3	10.1	11.1	10.6	11.6	△2.5	△2.5	△3.1
出荷指数	74.1	90.8	62.9	69.7	77.6	84.9	95.8	91.8	90.2	86.1
前年比・前期比	△29.8	22.5	△29.8	10.8	11.3	9.4	12.8	△4.2	△1.7	△4.5
在庫指数	85.9	84.8	93.3	91.2	87.8	89.0	87.0	89.2	88.2	87.5
前年比・前期比	△12.4	△1.3	△9.4	△2.3	△3.7	1.4	△2.2	2.5	△1.1	△0.8
在庫率指数	148.7	115.6	175.6	152.9	133.4	129.7	112.7	123.3	112.8	112.6
前年比・前期比	30.2	△22.3	37.8	△12.9	△12.8	△2.8	△13.1	9.4	△8.5	△0.2

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

参考 全国及び中部地域の鋳工業指数

図2 全国の鋳工業指数の推移

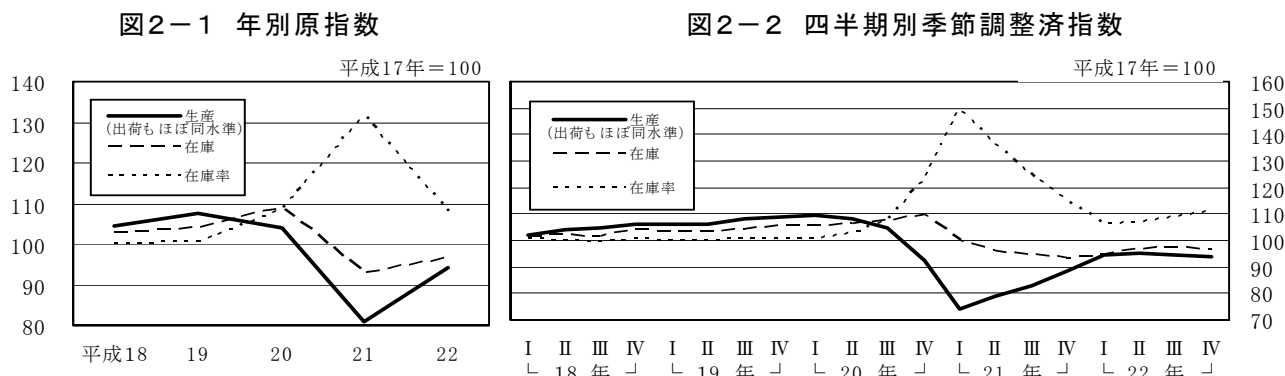


表2 全国の年・期別鋳工業指数の推移

年・期 項目	平成17年=100									
	平成21年	平成22年	平成21年				平成22年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
生産指数	81.1	94.4	74.2	79.0	83.2	88.1	94.6	95.3	94.3	94.2
前年比・前期比	△ 21.9	16.4	△ 20.0	6.5	5.3	5.9	7.4	0.7	△ 1.0	△ 0.1
出荷指数	82.1	95.8	75.7	79.5	84.1	89.1	95.8	96.5	95.7	95.4
前年比・前期比	△ 21.3	16.7	△ 19.0	5.0	5.8	5.9	7.5	0.7	△ 0.8	△ 0.3
在庫指数	93.1	96.6	100.0	96.1	94.4	93.0	94.4	96.9	97.3	96.7
前年比・前期比	△ 14.6	3.8	△ 8.8	△ 3.9	△ 1.8	△ 1.5	1.5	2.6	0.4	△ 0.6
在庫率指数	131.6	108.1	149.6	136.4	124.3	114.7	106.3	106.5	108.7	111.0
前年比・前期比	21.2	△ 17.9	21.2	△ 8.8	△ 8.9	△ 7.7	△ 7.3	0.2	2.1	2.1

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。
 注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。
 資料 経済産業省による。

図3 中部地域の鋳工業指数の推移

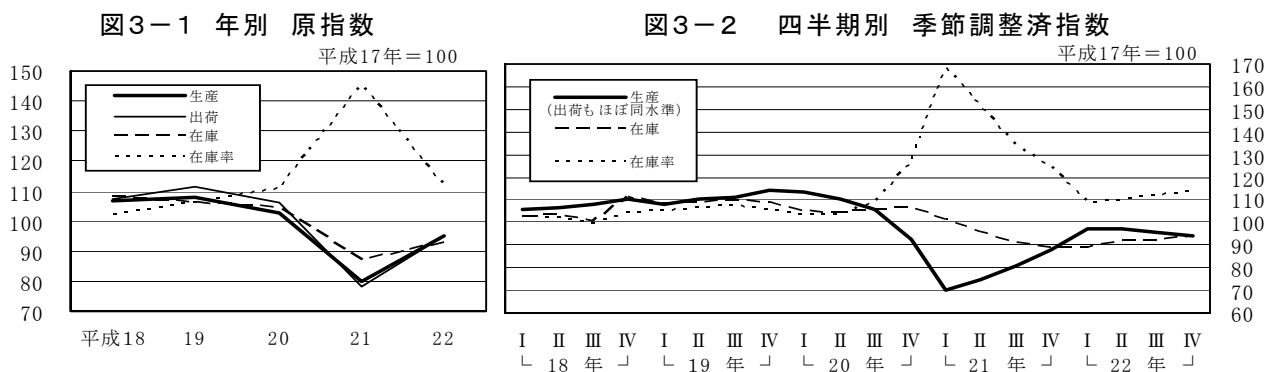


表3 中部地域の年・期別鋳工業指数の推移

年・期 項目	平成17年=100									
	平成21年	平成22年	平成21年				平成22年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
生産指数	79.8	94.9	69.7	75.1	81.2	88.2	97.3	97.4	95.6	94.2
前年比・前期比	△ 22.4	18.9	△ 24.5	7.7	8.1	8.6	10.3	0.1	△ 1.8	△ 1.5
出荷指数	78.4	95.1	69.3	75.3	81.2	87.3	96.7	96.4	94.7	93.0
前年比・前期比	△ 26.2	21.3	△ 25.6	8.7	7.8	7.5	10.8	△ 0.3	△ 1.8	△ 1.8
在庫指数	87.0	92.8	101.0	95.9	91.3	88.3	89.0	91.7	92.0	94.3
前年比・前期比	△ 16.5	6.7	△ 4.8	△ 5.0	△ 4.8	△ 3.3	0.8	3.0	0.3	2.5
在庫率指数	145.3	111.2	168.7	151.7	133.8	124.5	109.1	109.7	112.1	113.8
前年比・前期比	31.4	△ 23.5	33.0	△ 10.1	△ 11.8	△ 7.0	△ 12.4	0.5	2.2	1.5

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。
 注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。
 注3 「中部地域」とは、富山、石川、岐阜、愛知、三重の5県です。
 資料 中部経済産業局による。

表4 平成22年 業種別原指数(生産・出荷・在庫・在庫率指数)の前年比及び寄与度

平成17年=100

業 種 名	生 産			出 荷			在 庫			在 庫 率		
	指数	前年比	寄与度	指数	前年比	寄与度	指数	前年比	寄与度	指数	前年比	寄与度
鋁 工 業	91.6	23.6	-	90.8	22.5	-	84.8	△ 1.3	-	115.6	△ 22.3	-
鉄 鋼 業	91.0	32.3	1.936	89.2	34.1	1.849	104.0	12.9	2.321	110.3	△ 29.2	△ 4.908
非鉄金属工業	92.9	24.2	0.340	94.7	25.4	0.454	88.5	△ 12.2	△ 0.321	93.5	△ 25.0	△ 0.487
金属製品工業	89.2	5.9	0.238	88.0	2.2	0.079	62.4	△ 12.2	△ 0.562	84.2	△ 25.2	△ 0.945
一般機械工業	70.0	37.0	3.080	69.8	34.0	2.365	88.2	△ 1.0	△ 0.125	145.5	△ 41.2	△ 8.483
電気機械工業	94.7	38.2	1.614	95.7	34.8	1.610	42.5	△ 23.3	△ 0.395	91.3	△ 15.1	△ 0.115
情報通信 機械工業	90.1	7.3	0.150	76.3	26.3	0.720	62.5	35.9	0.949	179.2	31.0	1.463
電子部品・デ バイス工業	92.3	18.2	0.502	74.3	14.3	0.241	53.5	△ 1.3	△ 0.012	84.8	△ 62.3	△ 1.411
輸送機械工業	97.9	28.6	13.385	96.8	26.5	13.447	90.4	△ 0.9	△ 0.153	94.9	△ 19.3	△ 2.604
精密機械工業	90.6	△ 9.9	△ 0.045	95.0	△ 12.4	△ 0.047	270.4	△ 38.7	△ 0.083	492.5	△ 48.2	△ 0.134
窯業・土石 製品工業	86.3	29.0	0.923	82.8	23.2	0.431	95.1	△ 4.5	△ 0.464	134.4	△ 17.8	△ 1.799
化学工業	103.3	7.2	0.249	99.6	6.8	0.262	83.0	△ 2.1	△ 0.167	120.3	△ 0.9	△ 0.061
石油・石炭 製品工業	92.6	4.6	0.019	91.4	1.6	0.032	88.0	△ 12.1	△ 0.152	106.3	△ 46.2	△ 0.687
プラスチック 製品工業	94.8	13.7	0.713	97.1	16.6	0.746	95.5	△ 12.5	△ 1.114	100.8	△ 10.1	△ 0.555
パルプ・紙・ 紙加工品工業	90.7	6.0	0.058	90.7	6.7	0.070	98.7	3.1	0.014	109.9	△ 2.5	△ 0.008
繊維工業	63.3	9.3	0.109	59.5	3.1	0.031	51.6	△ 22.9	△ 0.825	95.8	△ 30.7	△ 1.370
食料品工業	91.5	△ 1.2	△ 0.059	86.9	△ 2.8	△ 0.133	70.0	1.0	0.043	113.1	4.8	0.191
ゴム製品工業	97.5	20.7	0.374	93.0	21.4	0.293	98.2	△ 1.5	△ 0.010	102.5	△ 24.2	△ 0.137
家具工業	88.4	16.0	0.147	98.6	15.6	0.116	82.3	△ 4.2	△ 0.045	130.1	△ 14.9	△ 0.173
印刷業	87.9	△ 2.4	△ 0.034	87.9	△ 2.4	△ 0.012	-	-	-	-	-	-
木材・木製品 工業	59.4	△ 16.1	△ 0.049	63.1	△ 11.9	△ 0.033	69.8	△ 24.1	△ 0.194	155.9	3.7	0.029
その他 製品工業	77.8	△ 1.0	△ 0.002	86.2	1.3	0.002	62.1	△ 21.6	△ 0.074	71.4	△ 25.5	△ 0.063
鋁業	60.4	10.0	0.002	61.5	10.2	0.002	84.3	0.7	0.000	136.6	△ 7.8	△ 0.002

2 業種別の動向

(1) 鉄鋼業

— 生産、出荷は3年ぶりに上昇、在庫は2年ぶりに上昇 —

生産指数は前年比 32.3% 上昇の 91.0 となり、出荷指数は同 34.1% 上昇の 89.2 となり、在庫指数は同 12.9% 上昇の 104.0 となった。

生産指数では、熱間圧延鋼材(前年比 33.4% 上昇)、鉄素製品(含、鋼半製品)(同 36.6% 上昇)等すべて上昇した。

出荷指数では、熱間圧延鋼材(前年比 38.7% 上昇)、冷間仕上鋼材(同 36.3% 上昇)等すべて上昇した。

在庫指数では、熱間圧延鋼材(前年比 21.9% 上昇)、鉄素製品(含、鋼半製品)(同 16.2% 上昇)等が上昇し、鋼管(同 14.2% 低下)等が低下した。

図4 鉄鋼業 指数の推移

図4-1 年別 原指数

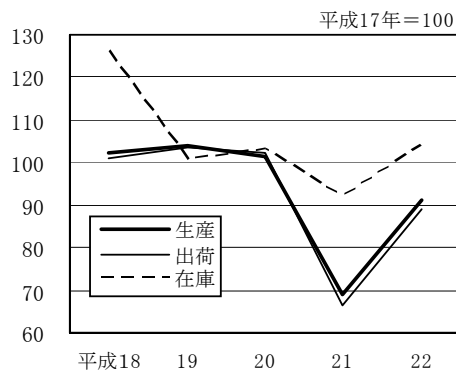


図4-2 四半期別 季節調整済指数

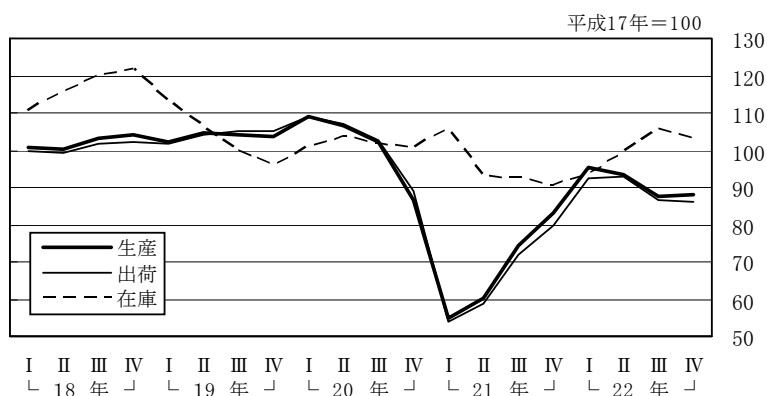


表5 鉄鋼業 年・期別指数の推移

平成17年=100

年・期 項目	平成21年	平成22年	平成 21 年				平成 22 年			
			I	II	III	IV	I	II	III	IV
			1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
生産指数	68.8	91.0	54.9	60.3	74.3	83.1	95.6	93.6	87.5	87.9
前年比・前期比	△ 32.1	32.3	△ 36.6	9.8	23.2	11.8	15.0	△ 2.1	△ 6.5	0.5
出荷指数	66.5	89.2	53.7	59.0	71.8	79.7	92.4	92.7	86.6	86.0
前年比・前期比	△ 34.9	34.1	△ 39.7	9.9	21.7	11.0	15.9	0.3	△ 6.6	△ 0.7
在庫指数	92.1	104.0	105.5	93.0	92.5	90.5	93.6	99.3	105.7	103.0
前年比・前期比	△ 10.7	12.9	5.0	△ 11.8	△ 0.5	△ 2.2	3.4	6.1	6.4	△ 2.6

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

(2) 非鉄金属工業

— 生産、出荷は3年ぶりに上昇、在庫は3年連続の低下 —

生産指数は前年比24.2%上昇の92.9となり、出荷指数は同25.4%上昇の94.7となり、在庫指数は同12.2%低下の88.5となった。

生産指数では、非鉄金属鋳物(前年比22.9%上昇)、伸銅・アルミニウム圧延製品(同29.0%上昇)等すべて上昇した。

出荷指数では、非鉄金属鋳物(前年比22.8%上昇)、伸銅・アルミニウム圧延製品(同28.5%上昇)等すべて上昇した。

在庫指数では、伸銅・アルミニウム圧延製品(前年比9.3%低下)、非鉄金属地金(同13.8%低下)等すべて低下した。

図5 非鉄金属工業 指数の推移

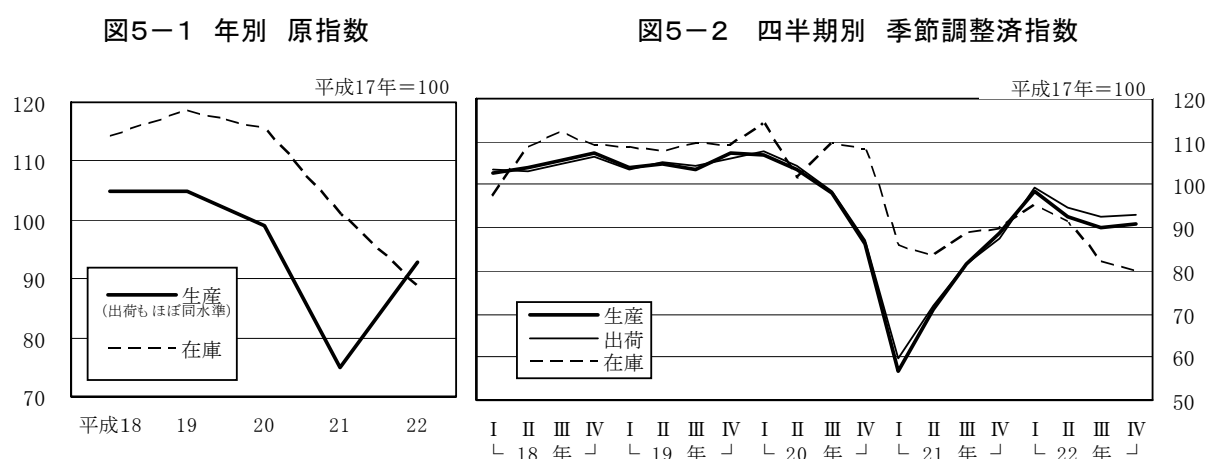


表6 非鉄金属工業 年・期別指数の推移

平成17年=100

年・期 項目	平成21年	平成22年	平成21年				平成22年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
生産指数	74.8	92.9	56.7	70.9	81.8	88.6	98.7	92.7	90.1	91.0
前年比・前期比	△ 24.4	24.2	△ 34.1	25.0	15.4	8.3	11.4	△ 6.1	△ 2.8	1.0
出荷指数	75.5	94.7	59.7	71.9	81.7	87.5	99.3	94.6	92.6	93.0
前年比・前期比	△ 24.3	25.4	△ 31.5	20.4	13.6	7.1	13.5	△ 4.7	△ 2.1	0.4
在庫指数	100.8	88.5	86.0	83.5	88.8	89.5	95.2	91.5	82.2	79.8
前年比・前期比	△ 12.7	△ 12.2	△ 20.7	△ 2.9	6.3	0.8	6.4	△ 3.9	△ 10.2	△ 2.9

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

(3) 金属製品工業

— 生産は3年ぶりに上昇、出荷は4年ぶりに上昇、在庫は2年連続の低下—

生産指数は前年比 5.9%上昇の 89.2 となり、出荷指数は同 2.2%上昇の 88.0 となり、在庫指数は同 12.2%低下の 62.4 となった。

生産指数では、ばね(前年比 25.1%上昇)、暖ちゅう房熱機器(同 7.1%上昇)等が上昇し、建設用金属製品(同 33.0%低下)等が低下した。

出荷指数では、ばね(前年比 25.5%上昇)、暖ちゅう房熱機器(同 4.5%上昇)等が上昇し、建設用金属製品(同 39.3%低下)等が低下した。

在庫指数では、暖ちゅう房熱機器(前年比 19.7%低下)、ばね(同 5.2%低下)等が低下し、その他の金属製品(同 23.2%上昇)のみ上昇した。

図6 金属製品工業 指数の推移

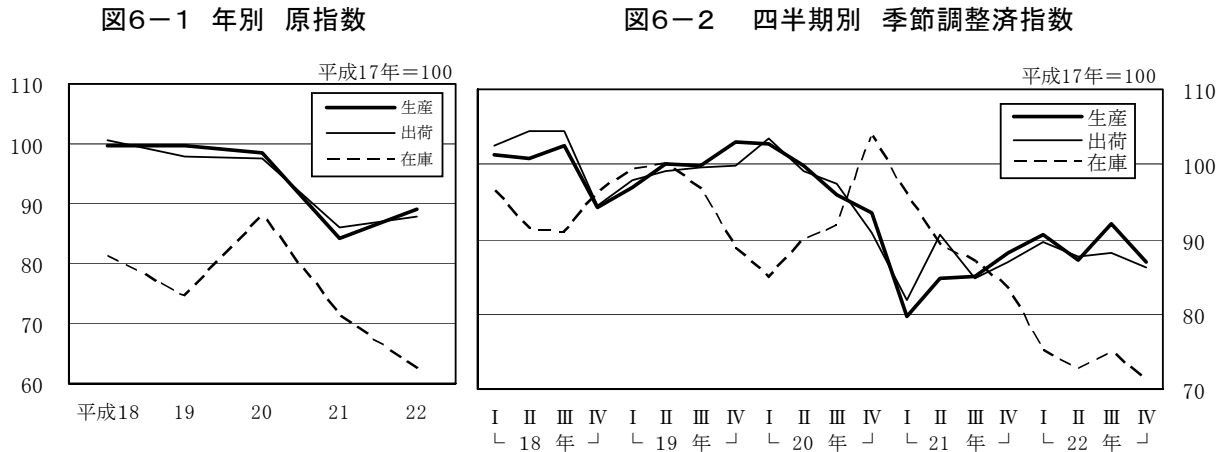


表7 金属製品工業 年・期別指数の推移

年・期 項目	平成17年=100									
	平成21年	平成22年	平成21年				平成22年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
生産指数	84.2	89.2	79.8	84.7	85.0	88.2	90.7	87.3	92.1	87.0
前年比・前期比	△ 14.4	5.9	△ 14.6	6.1	0.4	3.8	2.8	△ 3.7	5.5	△ 5.5
出荷指数	86.1	88.0	81.9	90.5	84.9	86.9	89.7	87.8	88.2	86.3
前年比・前期比	△ 11.9	2.2	△ 9.8	10.5	△ 6.2	2.4	3.2	△ 2.1	0.5	△ 2.2
在庫指数	71.1	62.4	95.8	89.1	86.9	83.4	75.1	72.7	74.8	71.1
前年比・前期比	△ 19.2	△ 12.2	△ 7.6	△ 7.0	△ 2.5	△ 4.0	△ 10.0	△ 3.2	2.9	△ 4.9

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

(4) 一般機械工業

— 生産、出荷は4年ぶりに上昇、在庫は2年連続の低下 —

生産指数は前年比 37.0%上昇の 70.0 となり、出荷指数は同 34.0%上昇の 69.8 となり、在庫指数は同 1.0%低下の 88.2 となった。

生産指数では、機械工具(前年比 55.1%上昇)、金属工作機械(同 79.3%上昇)等が上昇し、その他の一般機械(同 23.5%低下)等が低下した。

出荷指数では、冷凍機・同応用製品(前年比 32.3%上昇)、金属工作機械(同 59.2%上昇)等が上昇し、その他の一般機械(同 24.9%低下)等が低下した。

在庫指数では、機械工具(前年比 4.6%低下)、金属工作機械(同 2.7%低下)等が低下し、冷凍機・同応用製品(同 18.6%上昇)等が上昇した。

図7 一般機械工業 指数の推移

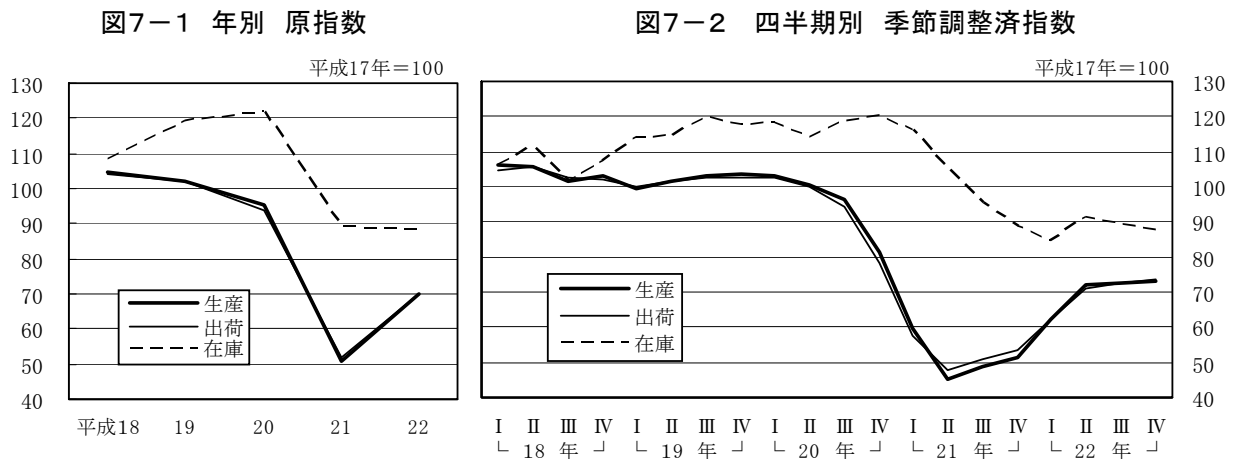


表8 一般機械工業 年・期別指数の推移

平成17年=100

年・期 項目	平成21年	平成22年	平成21年				平成22年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
生産指数	51.1	70.0	59.8	45.2	48.9	51.2	62.3	72.1	72.5	72.9
前年比・前期比	△ 46.3	37.0	△ 26.7	△ 24.4	8.2	4.7	21.7	15.7	0.6	0.6
出荷指数	52.1	69.8	57.4	47.7	51.1	53.5	62.5	71.1	72.4	73.6
前年比・前期比	△ 44.4	34.0	△ 26.8	△ 16.9	7.1	4.7	16.8	13.8	1.8	1.7
在庫指数	89.1	88.2	115.9	105.2	95.5	88.5	84.7	91.1	89.3	87.5
前年比・前期比	△ 26.8	△ 1.0	△ 3.5	△ 9.2	△ 9.2	△ 7.3	△ 4.3	7.6	△ 2.0	△ 2.0

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

(5) 電気機械工業

—生産、出荷は3年ぶりに上昇、在庫は2年連続の低下—

生産指数は前年比 38.2%上昇の 94.7 となり、出荷指数は同 34.8%上昇の 95.7 となり、在庫指数は同 23.3%低下の 42.5 となった。

生産指数では、回転電気機械(前年比 108.7%上昇)、内燃機関電装品(同 23.5%上昇)等が上昇し、民生用電気機械(同 8.8%低下)のみ低下した。

出荷指数では、回転電気機械(前年比 107.6%上昇)、内燃機関電装品(同 23.5%上昇)等が上昇し、民生用電気機械(同 3.1%低下)のみ低下した。

在庫指数では、民生用電気機械(前年比 27.6%低下)、照明器具(同 42.0%低下) が低下し、静止電気機械(同 30.3%上昇) 等が上昇した。

図8 電気機械工業 指数の推移

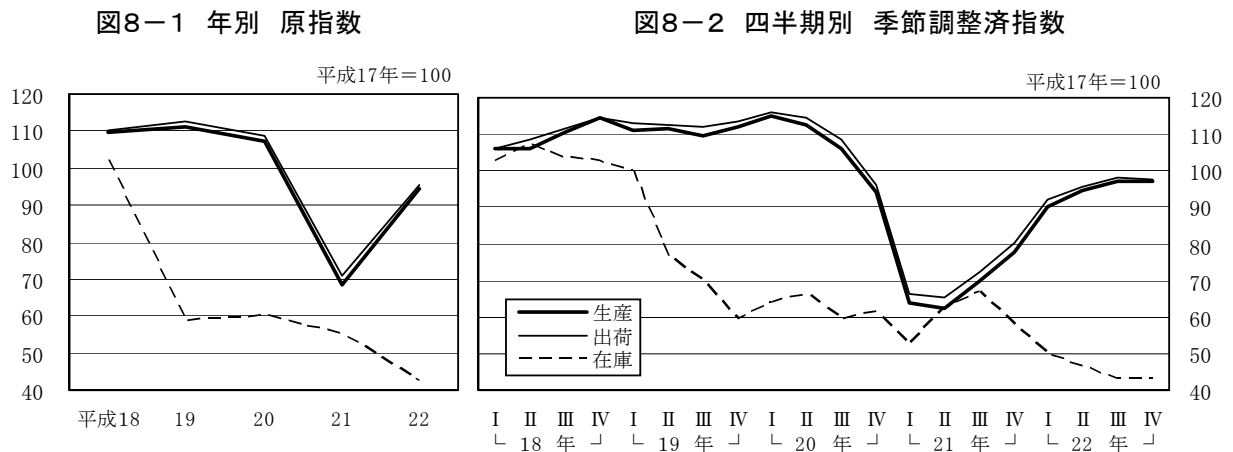


表9 電気機械工業 年・期別指数の推移

年・期 項目	平成17年=100									
	平成21年	平成22年	平成21年				平成22年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
生産指数	68.5	94.7	63.7	62.4	69.6	77.8	90.3	94.8	97.1	96.9
前年比・前期比	△ 36.0	38.2	△ 32.2	△ 2.0	11.5	11.8	16.1	5.0	2.4	△ 0.2
出荷指数	71.0	95.7	66.3	65.1	72.4	80.4	92.1	95.7	97.9	97.7
前年比・前期比	△ 34.8	34.8	△ 31.1	△ 1.8	11.2	11.0	14.6	3.9	2.3	△ 0.2
在庫指数	55.4	42.5	52.3	62.6	66.7	57.9	49.8	46.4	42.8	42.8
前年比・前期比	△ 7.8	△ 23.3	△ 14.5	19.7	6.5	△ 13.2	△ 14.0	△ 6.8	△ 7.8	0.0

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数で、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

(6) 情報通信機械工業

—生産、出荷、在庫とも3年ぶりに上昇—

生産指数は前年比 7.3%上昇の 90.1 となり、出荷指数は同 26.3%上昇の 76.3 となり、在庫指数は同 35.9%上昇の 62.5 となった。

生産指数では、電子計算機(前年比 23.7%上昇)、民生用電子機械(同 2.6%上昇)等すべて上昇した。

出荷指数では、民生用電子機械(前年比 29.8%上昇)、電子計算機(同 23.5%上昇)等すべて上昇した。

在庫指数では、民生用電子機械(前年比 51.9%上昇)が上昇し、通信機械(同 14.4%低下)が低下した。

図9 情報通信機械工業 指数の推移

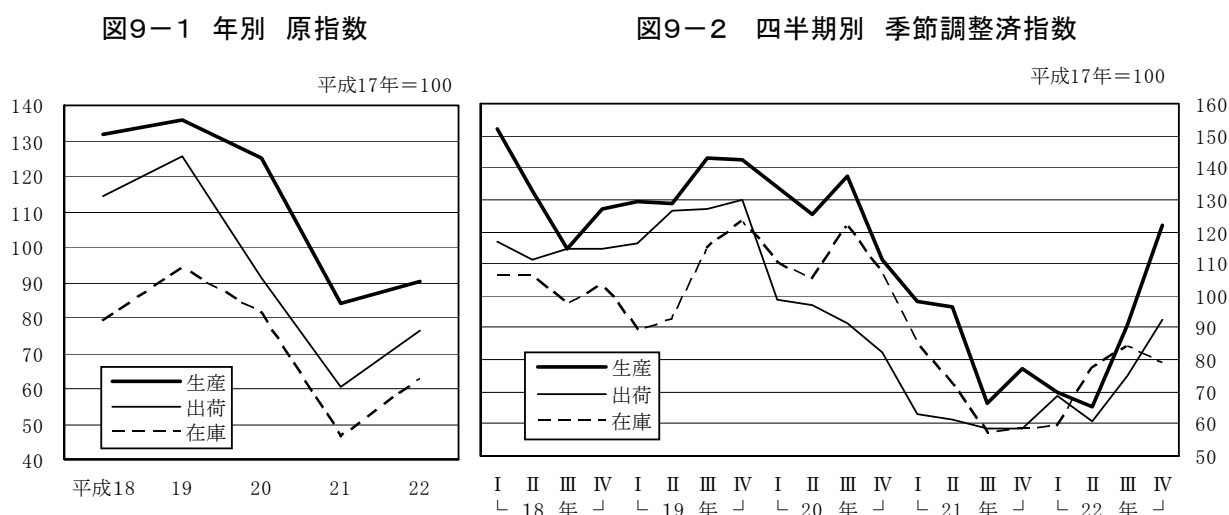


表10 情報通信機械工業 年・期別指数の推移

年・期 項目	平成17年=100									
	平成21年	平成22年	平成 21年				平成 22年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
生産指数	84.0	90.1	98.1	96.3	66.3	77.4	69.9	65.3	90.6	122.0
前年比・前期比	△ 33.0	7.3	△ 11.7	△ 1.8	△ 31.2	16.7	△ 9.7	△ 6.6	38.7	34.7
出荷指数	60.4	76.3	63.0	61.2	58.6	58.6	68.8	61.0	74.9	92.6
前年比・前期比	△ 33.8	26.3	△ 23.5	△ 2.9	△ 4.2	0.0	17.4	△ 11.3	22.8	23.6
在庫指数	46.0	62.5	84.7	72.1	56.9	58.4	58.8	77.0	84.1	78.7
前年比・前期比	△ 43.1	35.9	△ 20.5	△ 14.9	△ 21.1	2.6	0.7	31.0	9.2	△ 6.4

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

(7) 電子部品・デバイス工業

— 生産、出荷は3年ぶりに上昇、在庫は2年連続の低下—

生産指数は前年比 18.2%上昇の 92.3 となり、出荷指数は同 14.3%上昇の 74.3 となり、在庫指数は同 1.3%低下の 53.5 となった。

生産指数では、半導体素子・集積回路(前年比 28.3%上昇)、電子部品(同 11.8%上昇)すべて上昇した。

出荷指数では、電子部品(前年比 12.5%上昇)、半導体素子・集積回路(同 28.1%上昇)すべて上昇した。

在庫指数では、電子部品(前年比 3.1%低下)が低下し、半導体素子・集積回路(同 51.5%上昇)が上昇した。

図10 電子部品・デバイス工業 指数の推移

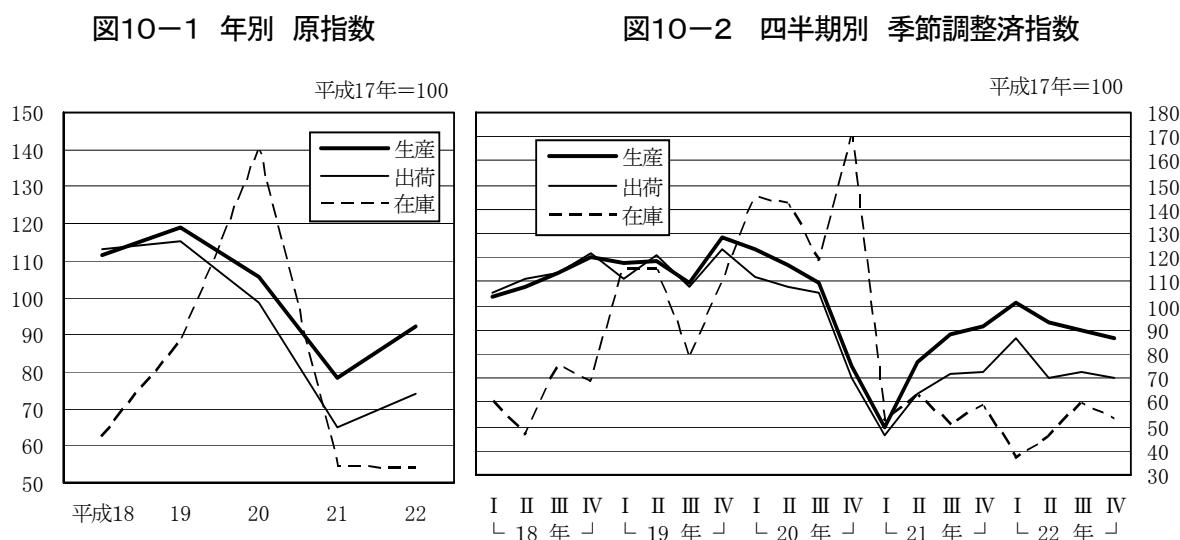


表11 電子部品・デバイス工業 年・期別指数の推移

年・期 項目	平成17年=100									
	平成21年	平成22年	平成 21年				平成 22年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
生産指数	78.1	92.3	49.9	77.1	88.0	91.4	101.7	93.1	89.6	86.3
前年比・前期比	△ 26.1	18.2	△ 33.6	54.5	14.1	3.9	11.3	△ 8.5	△ 3.8	△ 3.7
出荷指数	65.0	74.3	46.4	63.8	71.8	72.9	86.8	69.9	73.0	70.2
前年比・前期比	△ 34.0	14.3	△ 33.6	37.5	12.5	1.5	19.1	△ 19.5	4.4	△ 3.8
在庫指数	54.2	53.5	52.5	62.9	50.3	58.5	36.6	45.2	59.7	53.2
前年比・前期比	△ 61.3	△ 1.3	△ 69.2	19.8	△ 20.0	16.3	△ 37.4	23.5	32.1	△ 10.9

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

(8) 輸送機械工業

— 生産、出荷は3年ぶりに上昇、在庫は1年ぶりに低下 —

生産指数は前年比 28.6%上昇の 97.9 となり、出荷指数は同 26.5%上昇の 96.8 となり、在庫指数は同 0.9%低下の 90.4 となった。

生産指数では、自動車部品(前年比 28.9%上昇)、自動車(同 29.1%上昇)等すべて上昇した。

出荷指数では、自動車部品(前年比 28.9%上昇)、自動車(同 24.9%上昇)等すべて上昇した。

在庫指数では、自動車(前年比 3.1%低下)、自動車部品(同 15.3%低下)が低下し、その他の輸送機械(同 81.5%上昇)のみ上昇した。

図11 輸送機械工業 指数の推移

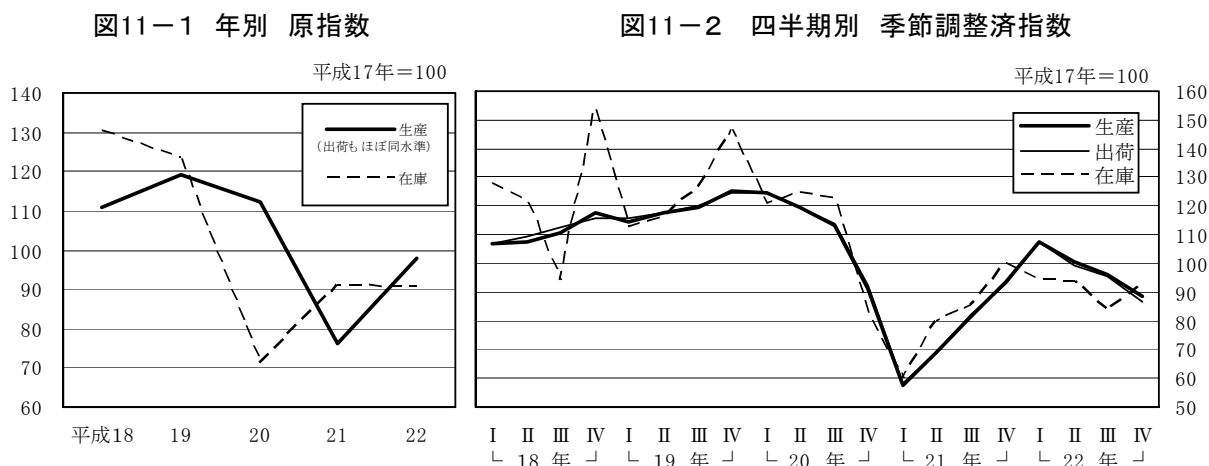


表12 輸送機械工業 年・期別指数の推移

年・期 項目	平成17年=100									
	平成21年	平成22年	平成21年				平成22年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
生産指数	76.1	97.9	57.7	69.0	81.7	93.9	107.5	100.6	96.3	88.7
前年比・前期比	△ 32.1	28.6	△ 36.7	19.6	18.4	14.9	14.5	△ 6.4	△ 4.3	△ 7.9
出荷指数	76.5	96.8	58.4	68.8	82.2	93.3	107.4	99.0	95.5	86.5
前年比・前期比	△ 31.9	26.5	△ 36.9	17.8	19.5	13.5	15.1	△ 7.8	△ 3.5	△ 9.4
在庫指数	91.2	90.4	60.2	79.7	85.7	99.8	94.4	93.8	83.4	92.1
前年比・前期比	27.9	△ 0.9	△ 27.4	32.4	7.5	16.5	△ 5.4	△ 0.6	△ 11.1	10.4

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

(9) 精密機械工業

— 生産、出荷、在庫とも2年連続の低下 —

生産指数は前年比 9.9%低下の 90.6 となり、出荷指数は同 12.4%低下の 95.0 となり、在庫指数は同 38.7%低下の 270.4 となった。

図12 精密機械工業 指数の推移

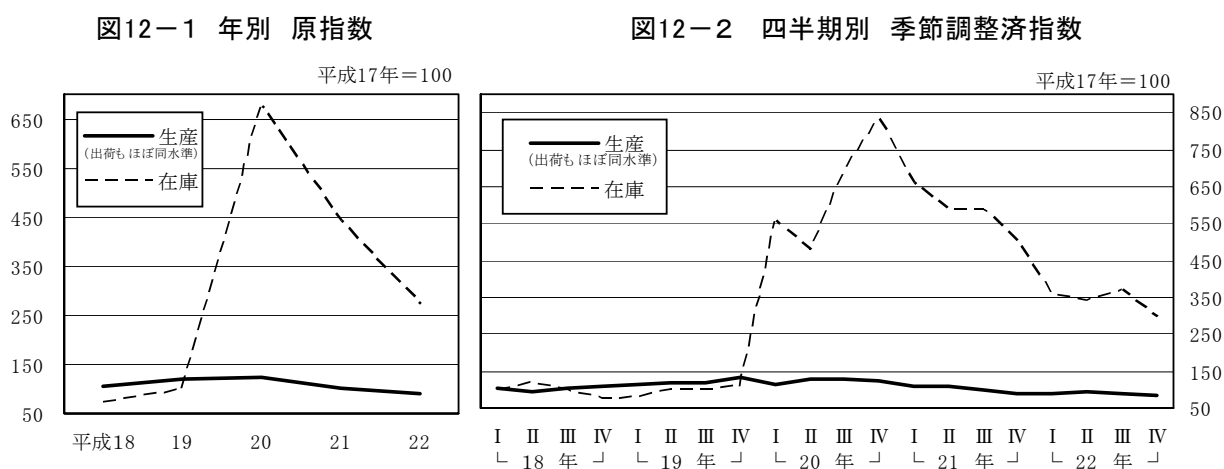


表13 精密機械工業 年・期別指数の推移

平成17年=100

年・期 項目	平成21年	平成22年	平成21年				平成22年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
生産指数	100.6	90.6	107.2	107.2	101.2	87.4	91.2	93.7	90.6	85.4
前年比・前期比	△ 18.8	△ 9.9	△ 12.3	0.0	△ 5.6	△ 13.6	4.3	2.7	△ 3.3	△ 5.7
出荷指数	108.4	95.0	109.2	116.8	108.7	97.2	97.9	98.6	93.9	89.3
前年比・前期比	△ 14.4	△ 12.4	△ 11.6	7.0	△ 6.9	△ 10.6	0.7	0.7	△ 4.8	△ 4.9
在庫指数	441.0	270.4	660.4	583.7	587.4	500.9	359.4	341.2	369.8	297.9
前年比・前期比	△ 34.4	△ 38.7	△ 20.8	△ 11.6	0.6	△ 14.7	△ 28.2	△ 5.1	8.4	△ 19.4

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

(10) 窯業・土石製品工業

— 生産は3年ぶりに上昇、出荷は4年ぶりに上昇、在庫は2年連続の低下—

生産指数は前年比 29.0%上昇の 86.3 となり、出荷指数は同 23.2%上昇の 82.8 となり、在庫指数は同 4.5%低下の 95.1 となった。

生産指数では、ファインセラミックス(前年比 40.6%上昇)、ガラス・同製品(同 34.1%上昇)等が上昇し、セメント製品(同 15.2%低下)等が低下した。

出荷指数では、ファインセラミックス(前年比 34.7%上昇)、ガラス・同製品(同 30.2%上昇)等が上昇し、セメント製品(同 4.3%低下)等が低下した。

在庫指数では、陶磁器(前年比 15.7%低下)、セメント製品(同 11.5%低下)等が低下し、ファインセラミックス(同 13.4%上昇)等が上昇した。

図13 窯業・土石製品工業 指数の推移

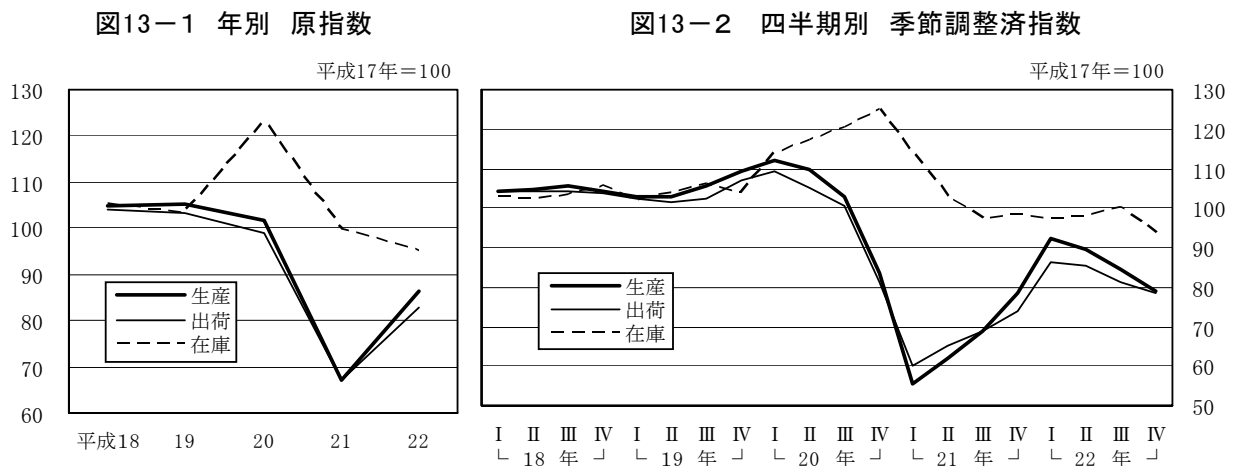


表14 窯業・土石製品工業 年・期別指数の推移

年・期 項目	平成17年=100									
	平成21年	平成22年	平成21年				平成22年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
生産指数	66.9	86.3	55.6	61.9	69.0	78.6	92.5	89.5	84.7	79.0
前年比・前期比	△ 34.3	29.0	△ 33.3	11.3	11.5	13.9	17.7	△ 3.2	△ 5.4	△ 6.7
出荷指数	67.2	82.8	59.9	65.2	68.8	73.9	86.3	85.5	81.3	78.4
前年比・前期比	△ 32.0	23.2	△ 26.3	8.8	5.5	7.4	16.8	△ 0.9	△ 4.9	△ 3.6
在庫指数	99.6	95.1	114.1	102.7	97.5	98.3	97.5	97.6	100.0	93.8
前年比・前期比	△ 19.1	△ 4.5	△ 8.6	△ 10.0	△ 5.1	0.8	△ 0.8	0.1	2.5	△ 6.2

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

(11) 化学工業

— 生産は2年連続の上昇、出荷は3年ぶりに上昇、在庫は2年連続の低下 —

生産指数は前年比 7.2%上昇の 103.3 となり、出荷指数は同 6.8%上昇の 99.6 となり、在庫指数は同 2.1%低下の 83.0 となった。

生産指数では、プラスチック（前年比 22.1%上昇）、塗料・印刷インキ（同 13.8%上昇）等が上昇し、石油系芳香族（同 29.8%低下）等が低下した。

出荷指数では、プラスチック（前年比 20.9%上昇）、医薬品（同 3.4%上昇）等が上昇し、石油系芳香族（同 22.8%低下）が低下した。

在庫指数では、石鹼・合成洗剤・界面活性剤（前年比 18.3%低下）、プラスチック（同 4.9%低下）等が低下し、塗料・印刷インキ（同 7.9%上昇）等が上昇した。

図14 化学工業 指数の推移

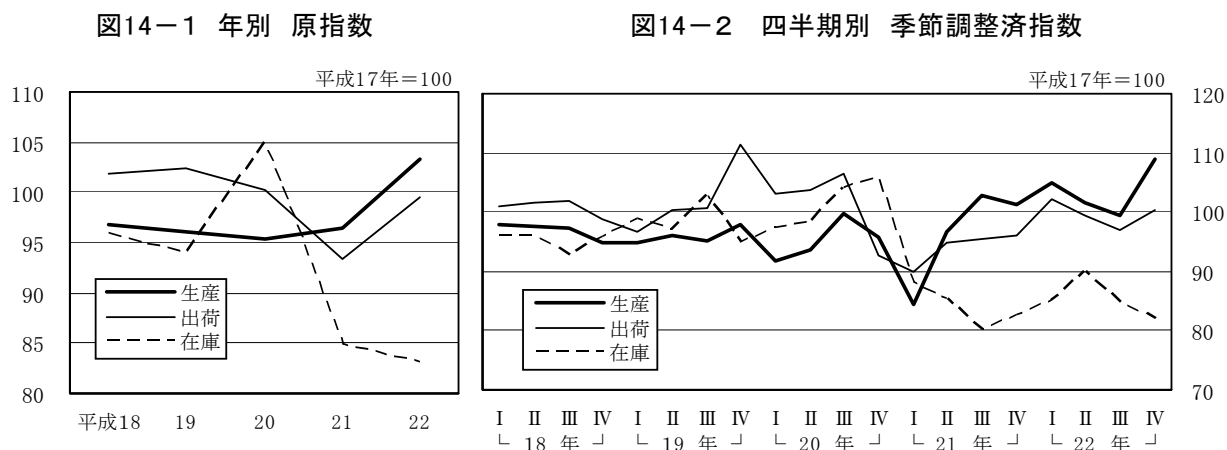


表15 化学工業 年・期別指数の推移

年・期 項目	平成17年=100									
	平成21年	平成22年	平成 21 年				平成 22 年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
生産指数	96.4	103.3	84.5	96.7	102.8	101.4	105.1	101.6	99.4	108.9
前年比・前期比	1.2	7.2	△ 11.7	14.4	6.3	△ 1.4	3.6	△ 3.3	△ 2.2	9.6
出荷指数	93.3	99.6	89.8	94.9	95.5	96.2	102.3	99.5	97.0	100.4
前年比・前期比	△ 7.0	6.8	△ 3.1	5.7	0.6	0.7	6.3	△ 2.7	△ 2.5	3.5
在庫指数	84.8	83.0	88.0	85.2	80.2	82.7	85.1	89.9	84.6	82.1
前年比・前期比	△ 19.2	△ 2.1	△ 16.8	△ 3.2	△ 5.9	3.1	2.9	5.6	△ 5.9	△ 3.0

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

(12) 石油・石炭製品工業

— 生産、出荷は3年ぶりに上昇、在庫は2年連続の低下 —

生産指数は前年比 4.6%上昇の 92.6 となり、出荷指数は同 1.6%上昇の 91.4 となり、在庫指数は同 12.1%低下の 88.0 となった。

生産指数では、石油製品(前年比 3.6%上昇)、石炭製品(同 27.1%上昇)すべて上昇した。

出荷指数では、石油製品(前年比 1.6%上昇)、石炭製品(同 49.2%上昇)すべて上昇した。

在庫指数では、石炭製品(前年比 17.5%低下)、石油製品(同 8.4%低下)すべて低下した。

図15 石油・石炭製品工業 指数の推移

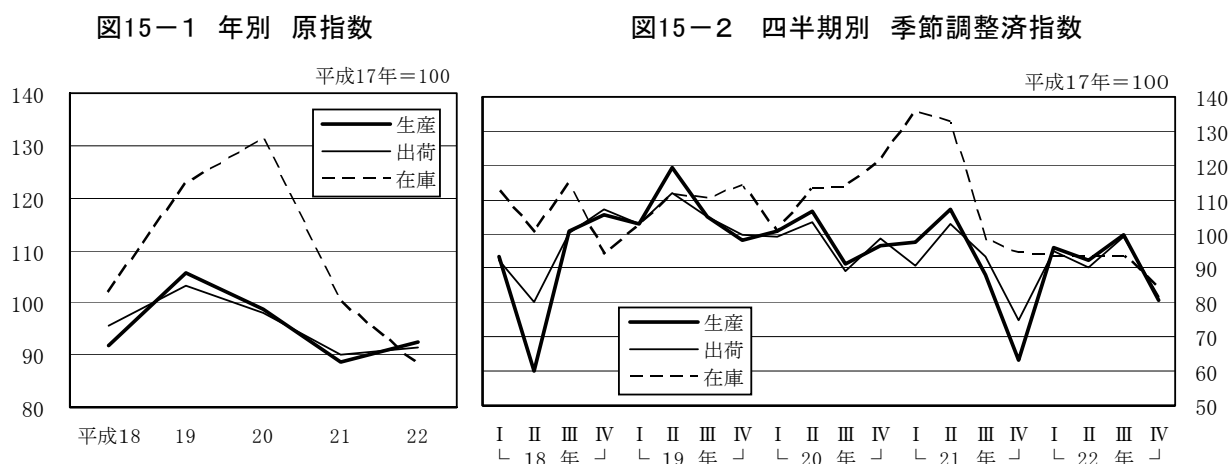


表16 石油石炭製品工業 年・期別指数の推移

平成17年=100

年・期 項目	平成21年	平成22年	平成21年				平成22年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
生産指数	88.5	92.6	97.8	107.3	88.1	63.1	96.3	92.5	99.9	80.9
前年比・前期比	△ 10.4	4.6	1.0	9.7	△ 17.9	△ 28.4	52.6	△ 3.9	8.0	△ 19.0
出荷指数	90.0	91.4	90.7	102.9	93.4	75.1	94.8	90.5	99.1	82.0
前年比・前期比	△ 8.1	1.6	△ 8.0	13.5	△ 9.2	△ 19.6	26.2	△ 4.5	9.5	△ 17.3
在庫指数	100.1	88.0	135.8	132.7	98.4	94.7	93.5	93.4	93.2	84.5
前年比・前期比	△ 23.8	△ 12.1	12.1	△ 2.3	△ 25.8	△ 3.8	△ 1.3	△ 0.1	△ 0.2	△ 9.3

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

(13) プラスチック製品工業

—生産、出荷は3年ぶりに上昇、在庫は2年ぶりに低下—

生産指数は前年比 13.7%上昇の 94.8 となり、出荷指数は同 16.6%上昇の 97.1 となり、在庫指数は同 12.5%低下の 95.5 となった。

図16 プラスチック製品工業 指数の推移

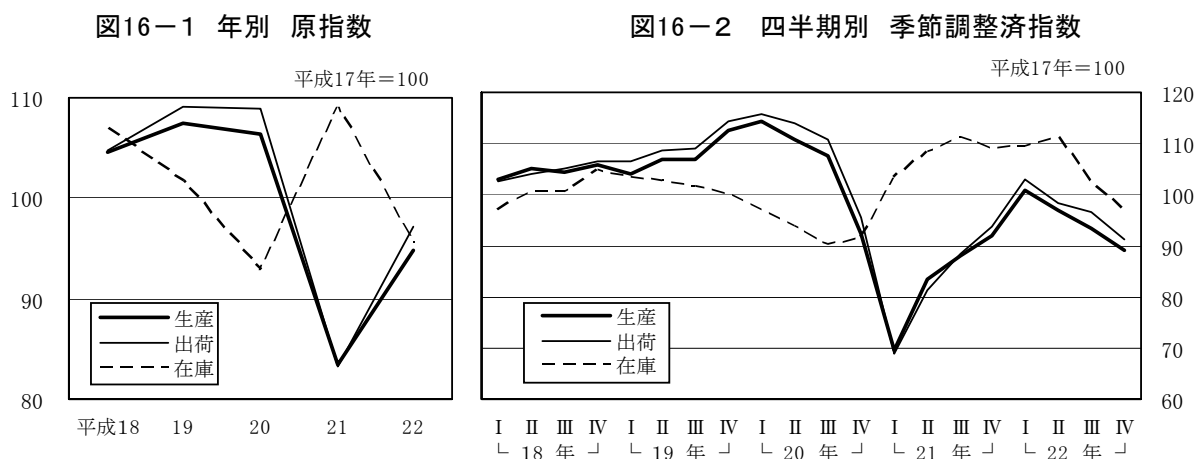


表17 プラスチック製品工業 年・期別指数の推移

年・期 項目	平成17年=100									
	平成21年	平成22年	平成 21 年				平成 22 年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
生産指数	83.4	94.8	69.6	83.4	88.2	91.8	100.7	96.9	93.4	89.2
前年比・前期比	△ 21.5	13.7	△ 24.7	19.8	5.8	4.1	9.7	△ 3.8	△ 3.6	△ 4.5
出荷指数	83.3	97.1	68.8	81.4	88.3	93.9	103.0	98.5	96.7	91.1
前年比・前期比	△ 23.6	16.6	△ 27.9	18.3	8.5	6.3	9.7	△ 4.4	△ 1.8	△ 5.8
在庫指数	109.1	95.5	103.2	108.3	111.1	109.0	109.3	111.3	102.1	96.7
前年比・前期比	17.6	△ 12.5	13.2	4.9	2.6	△ 1.9	0.3	1.8	△ 8.3	△ 5.3

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

(14) パルプ・紙・紙加工品工業

—生産、出荷は4年ぶりに上昇、在庫は2年ぶりに上昇—

生産指数は前年比 6.0%上昇の 90.7 となり、出荷指数は同 6.7%上昇の 90.7 となり、在庫指数は同 3.1%上昇の 98.7 となった。

生産指数では、紙（前年比 8.1%上昇）、紙加工品（同 5.2%上昇）等すべて上昇した。

出荷指数では、紙（前年比 7.8%上昇）、紙加工品（同 9.1%上昇）等すべて上昇した。

在庫指数では、紙加工品（前年比 30.7%低下）、板紙（同 3.7%低下）が低下し、紙（同 5.4%上昇）が上昇した。

図17 パルプ・紙・紙加工品工業 指数の推移

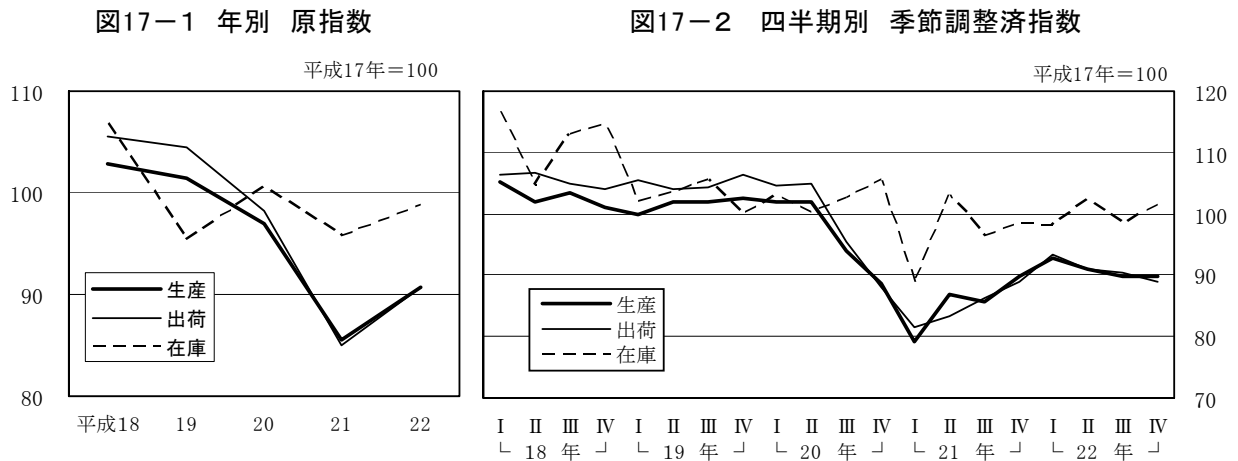


表18 パルプ・紙・紙加工品工業 年・期別指数の推移

年・期 項目	平成17年=100									
	平成21年	平成22年	平成 21 年				平成 22 年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
生産指数	85.6	90.7	79.2	86.8	85.8	89.8	92.8	90.9	89.7	89.7
前年比・前期比	△ 11.7	6.0	△ 10.7	9.6	△ 1.2	4.7	3.3	△ 2.0	△ 1.3	0.0
出荷指数	85.0	90.7	81.6	83.4	86.3	88.9	93.3	91.0	90.4	88.9
前年比・前期比	△ 13.5	6.7	△ 7.4	2.2	3.5	3.0	4.9	△ 2.5	△ 0.7	△ 1.7
在庫指数	95.7	98.7	88.5	103.0	96.2	98.3	98.2	102.2	98.5	101.3
前年比・前期比	△ 4.8	3.1	△ 16.0	16.4	△ 6.6	2.2	△ 0.1	4.1	△ 3.6	2.8

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

(15) 繊維工業

—生産、出荷は8年ぶりの上昇、在庫は4年連続の低下—

生産指数は前年比 9.3%上昇の 63.3 となり、出荷指数は同 3.1%上昇の 59.5 となり、在庫指数は同 22.9%低下の 51.6 となった。

生産指数では、化学繊維（前年比 27.9%上昇）、織物（同 7.0%上昇）等が上昇し、染色整理（同 3.0%低下）等が低下した。

出荷指数では、化学繊維（前年比 26.2%上昇）、敷物・フェルト・不織布（同 24.8%上昇）等が上昇し、織物（同 20.0%低下）等が低下した。

在庫指数では、紡績糸（前年比 75.7%低下）、織物（同 19.0%低下）等が低下し、敷物・フェルト・不織布（同 2.5%上昇）等が上昇した。

図18繊維工業 指数の推移

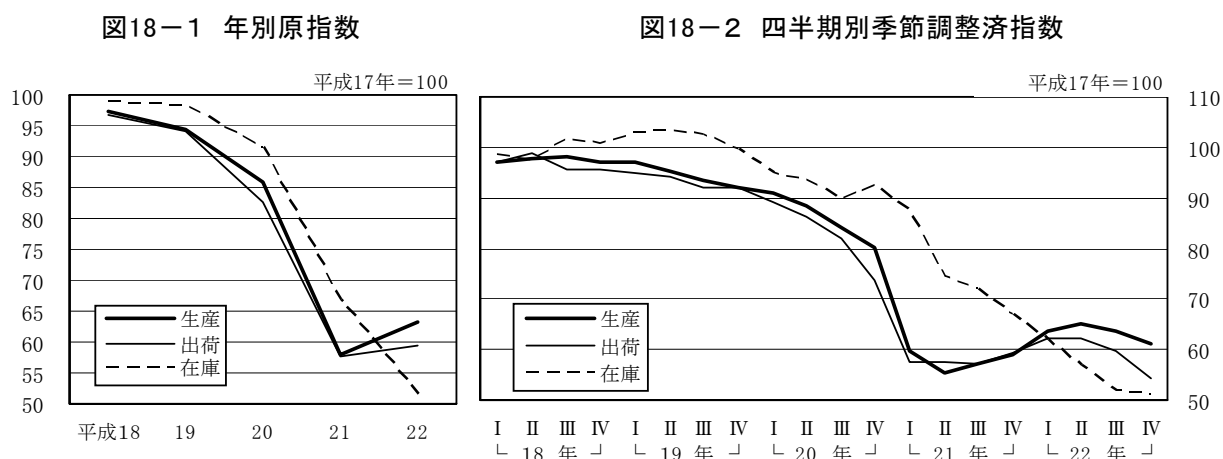


表19 繊維工業 年・期別指数の推移

年・期 項目	平成17年=100									
	平成21年	平成22年	平成 21年				平成 22年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
生産指数	57.9	63.3	59.7	55.4	57.2	59.0	63.7	65.0	63.5	61.1
前年比・前期比	△ 32.5	9.3	△ 25.5	△ 7.2	3.2	3.1	8.0	2.0	△ 2.3	△ 3.8
出荷指数	57.7	59.5	57.6	57.4	57.1	59.3	62.3	62.2	59.8	54.4
前年比・前期比	△ 30.2	3.1	△ 21.8	△ 0.3	△ 0.5	3.9	5.1	△ 0.2	△ 3.9	△ 9.0
在庫指数	66.9	51.6	87.5	74.4	71.8	66.9	61.7	56.9	51.9	51.1
前年比・前期比	△ 26.9	△ 22.9	△ 5.3	△ 15.0	△ 3.5	△ 6.8	△ 7.8	△ 7.8	△ 8.8	△ 1.5

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

(16) 食料品工業

—生産は3年連続の低下、出荷は6年連続の低下、在庫は2年ぶりに上昇—

生産指数は前年比 1.2%低下の 91.5 となり、出荷指数は同 2.8%低下の 86.9 となり、在庫指数は同 1.0%上昇の 70.0 となった。

生産指数では、飲料(前年比 3.0%低下)、その他の食料品(同 2.3%低下)等が低下し、加工食品(同 1.8%上昇)等が上昇した。

出荷指数では、飲料(前年比 4.3%低下)、その他の食料品(同 5.1%低下)等が低下し、加工食品(同 1.5%上昇)等が上昇した。

在庫指数では、畜産食料品(前年比 41.8%上昇)、飲料(同 8.4%上昇)等が上昇し、その他の食料品(同 2.0%低下)等が低下した。

図19 食料品工業 指数の推移

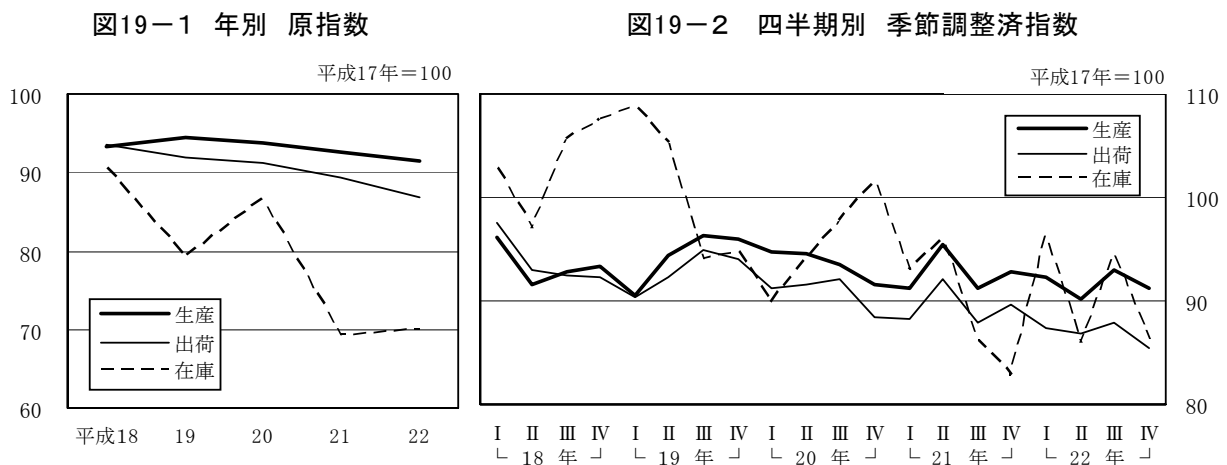


表20 食料品工業 年・期別指数の推移

平成17年=100

年・期 項目	年・期		平成21年				平成22年			
	平成21年	平成22年	I	II	III	IV	I	II	III	IV
			1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
生産指数	92.6	91.5	91.2	95.5	91.3	92.8	92.2	90.2	93.0	91.2
前年比・前期比	△ 1.2	△ 1.2	△ 0.3	4.7	△ 4.4	1.6	△ 0.6	△ 2.2	3.1	△ 1.9
出荷指数	89.4	86.9	88.3	92.1	87.9	89.6	87.3	86.9	87.9	85.4
前年比・前期比	△ 1.9	△ 2.8	△ 0.2	4.3	△ 4.6	1.9	△ 2.6	△ 0.5	1.2	△ 2.8
在庫指数	69.3	70.0	93.0	96.0	86.2	82.8	96.3	85.9	94.5	86.4
前年比・前期比	△ 20.0	1.0	△ 8.5	3.2	△ 10.2	△ 3.9	16.3	△ 10.8	10.0	△ 8.6

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

(17) その他工業

—生産は4年ぶりに上昇、出荷は2年ぶりに上昇、在庫は2年連続の低下—

生産指数は年比 9.6%上昇の 89.3 となり、出荷指数は同 12.0%上昇の 90.2 となり、在庫指数は同 11.0%低下の 79.7 となった。

生産指数では、ゴム製品工業(前年比 20.7%上昇)、家具工業(同 16.0%上昇)等が上昇し、木材・木製品工業(同 16.1%低下)等が低下した。

出荷指数では、ゴム製品工業(前年比 21.4%上昇)、家具工業(同 15.6%上昇)等が上昇し、木材・木製品工業(同 11.9%低下)等が低下した。

在庫指数では、木材・木製品工業(前年比 24.1%低下)、その他製品工業(同 21.6%低下)等すべて低下した。

図20 その他工業 指数の推移

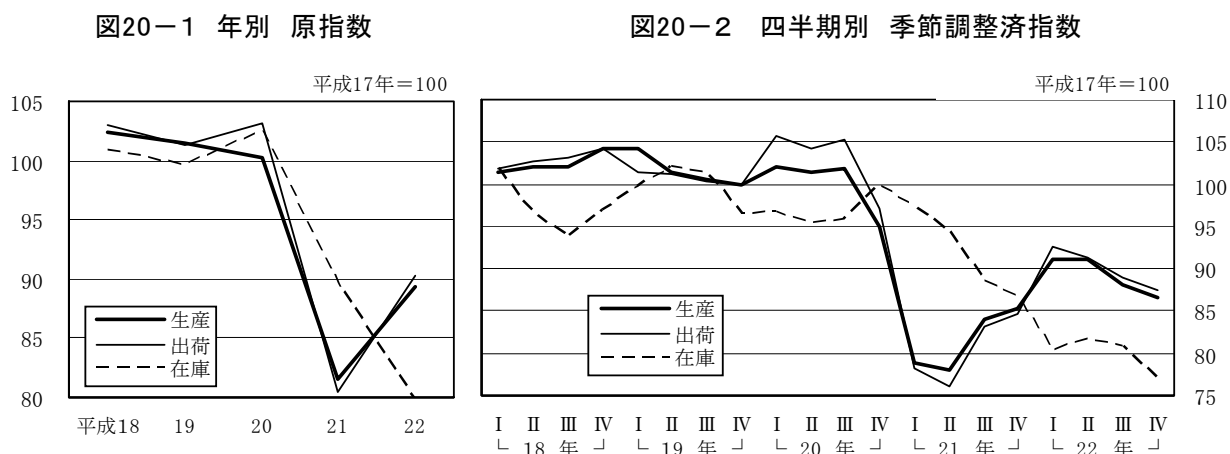


表21 その他工業 年・期別指数の推移

年・期 項目	平成17年=100									
	平成21年	平成22年	平成 21 年				平成 22 年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
生産指数	81.5	89.3	78.8	78.0	84.0	85.3	91.1	91.1	88.2	86.7
前年比・前期比	△ 18.7	9.6	△ 17.0	△ 1.0	7.7	1.5	6.8	0.0	△ 3.2	△ 1.7
出荷指数	80.5	90.2	78.3	76.0	83.2	84.7	92.6	91.3	89.0	87.4
前年比・前期比	△ 21.9	12.0	△ 19.4	△ 2.9	9.5	1.8	9.3	△ 1.4	△ 2.5	△ 1.8
在庫指数	89.6	79.7	97.4	94.3	88.5	86.9	80.3	81.7	80.9	77.0
前年比・前期比	△ 12.7	△ 11.0	△ 2.5	△ 3.2	△ 6.2	△ 1.8	△ 7.6	1.7	△ 1.0	△ 4.8

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

(18) 鋳 業

— 生産、出荷は8年ぶりに上昇、在庫は2年連続の上昇—

生産指数は前年比 10.0%上昇の 60.4 となり、出荷指数は同 10.2%上昇の 61.5 となり、在庫指数は同 0.7%上昇の 84.3 となった。

図21 鋳業 指数の推移

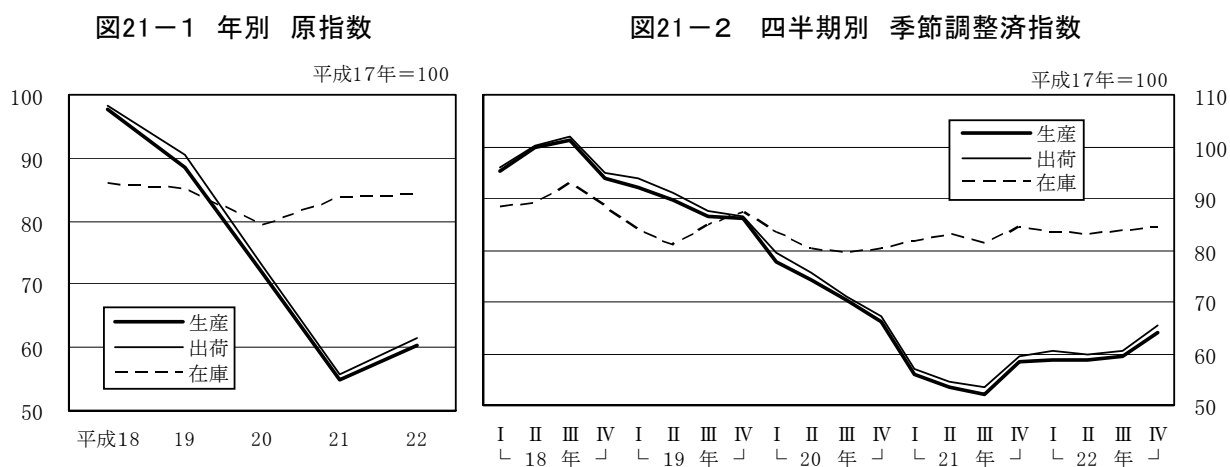


表22 鋳業 年・期別指数の推移

平成17年=100

年・期 項目	平成21年	平成22年	平成21年				平成22年			
			I	II	III	IV	I	II	III	IV
			1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
生産指数	54.9	60.4	56.0	53.6	52.0	58.5	58.9	58.7	59.6	64.2
前年比・前期比	△ 23.6	10.0	△ 15.3	△ 4.3	△ 3.0	12.5	0.7	△ 0.3	1.5	7.7
出荷指数	55.8	61.5	56.9	54.4	53.5	59.3	60.4	59.8	60.4	65.4
前年比・前期比	△ 23.7	10.2	△ 15.2	△ 4.4	△ 1.7	10.8	1.9	△ 1.0	1.0	8.3
在庫指数	83.7	84.3	81.5	83.0	81.3	84.3	83.5	83.1	83.7	84.3
前年比・前期比	5.4	0.7	1.7	1.8	△ 2.0	3.7	△ 0.9	△ 0.5	0.7	0.7

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

3 財別の出荷動向

生産者出荷指数は前年比 22.5%上昇の 90.8 でした。

これを、製品の経済的用途に着目して分類した財別生産者出荷指数でみると、最終需要に向けられる最終需要財は前年比 18.5%上昇の 89.0、生産活動に再投入される生産財は同 25.9%上昇の 92.3 でした。

最終需要財の内訳をみると、資本形成に向けられる投資財のうち、設備投資となる資本財は前年比 24.4%上昇の 72.5、建設投資に向けられる建設財は同 3.2%低下の 81.2 でした。また、主として家計で消費する消費財は前年比 19.2%上昇の 96.7 でした。

図22 財別生産者出荷指数の推移

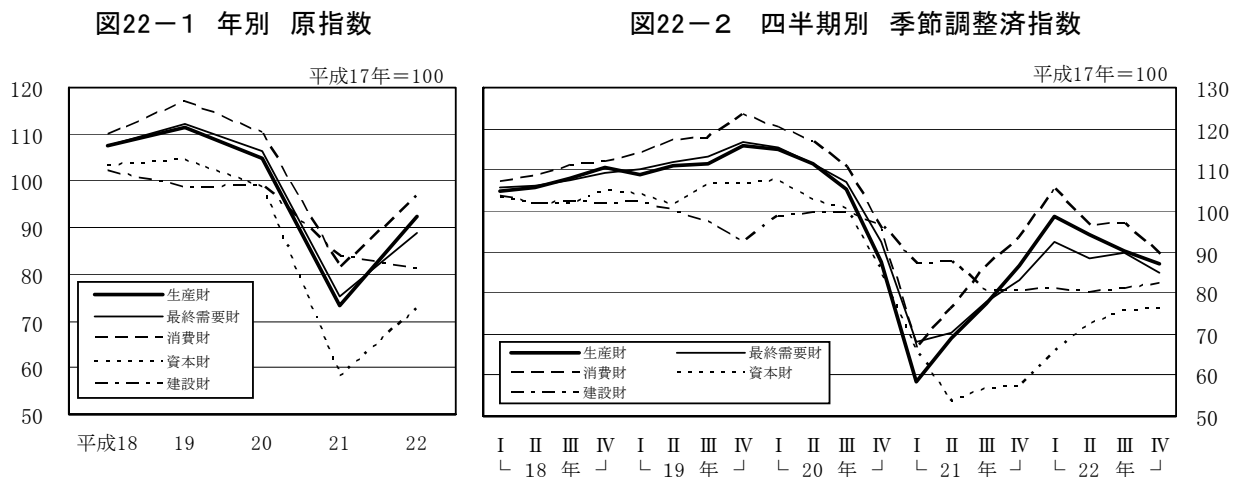


表23 財別生産者出荷指数 年・期別指数の推移

項目	年・期	平成17年=100									
		平成21年	平成22年	平成21年				平成22年			
				I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
最終需要財		75.1	89.0	68.1	70.2	77.7	83.1	92.5	88.6	89.9	85.0
	前年比・前期比	△ 29.3	18.5	△ 26.4	3.1	10.7	6.9	11.3	△ 4.2	1.5	△ 5.5
投資財	資本財	58.3	72.5	65.7	53.7	56.5	57.1	65.4	72.7	75.5	76.0
	前年比・前期比	△ 40.9	24.4	△ 22.5	△ 18.3	5.2	1.1	14.5	11.2	3.9	0.7
	建設財	83.9	81.2	87.0	87.5	80.4	80.4	80.9	79.9	81.0	82.2
前年比・前期比	△ 15.2	△ 3.2	△ 9.6	0.6	△ 8.1	0.0	0.6	△ 1.2	1.4	1.5	
消費財	81.1	96.7	66.2	76.0	86.4	93.2	105.2	96.2	96.9	89.2	
前年比・前期比	△ 26.4	19.2	△ 30.6	14.8	13.7	7.9	12.9	△ 8.6	0.7	△ 7.9	
生産財	73.3	92.3	58.6	68.8	77.5	86.7	98.6	94.0	90.4	87.3	
前年比・前期比	△ 30.1	25.9	△ 33.0	17.4	12.6	11.9	13.7	△ 4.7	△ 3.8	△ 3.4	

注1 年指数は原指数、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。